

2023年度事業報告（案）

1 課外活動支援

(1) チャレンジ事業活動支援

学生の社会貢献活動や社会的課題解決の取り組みを支援する奨励金制度(チャレンジ事業)を引き続き実施した。応募申請10件、採択4件(総額780千円)

(2) クラブ・サークル支援

① 公認団体で申請のあったクラブ・サークルの運営費等の支援を行った。

・クラブ・サークル助成		
杉本キャンパス	51 団体	7,990 千円
中百舌鳥キャンパス	40 団体	4,839 千円
阿倍野キャンパス	6 団体	877 千円
りんくうキャンパス	1 団体	113 千円
計	98 団体	13,819 千円

② クラブ顧問の全国大会等への参加遠征費への支援を行った。(6団体・総額142千円)

③ 東京都立大学、関西六公立大学との定期総合競技大会への支援を行った。(総額774千円)

④ ふたば祭・银杏祭(杉本)、白鷺祭・友好祭(中百舌鳥)、杏樹祭(羽曳野)の大学祭実行委員会へ支援を行った。(総額1,650千円)

⑤ クラブ部室の物品にかかる火災保険料への支援を行った。(総額595千円)

⑥ OMUS Aが実施するスポーツフェスタへの支援を行った(総額800千円)

(3) クラブ・サークル特別支援

課外活動全体の活性化のための、共通ないしは特別な事業、施設の建設・補修、設備整備等の事業費を支援した。

整備助成内容	場 所	金 額 (千円)
野球場等グラウンド整備費	杉本キャンパス	3,696
ソフトボール・硬式野球場照明設備費	中百舌鳥キャンパス	4,838
合 計		8,534

(4) その他

杉本キャンパス1号館前庭デザイン提案にかかる活動への支援および大学の高度人材育成推進センターが実施する“ビジネスアイデア・コンテスト”入賞者に対し、教育後援会賞として副賞を授与した。(総額211千円)

2 福利厚生支援

(1) 食の支援事業

健康で健全な学生生活を支援するため、生協食堂等での食の支援を検討したが、今年度の実施は見送った。

(2) その他

阿倍野キャンパスの学生の居場所づくり事業（ソファ・テーブル・椅子等の購入）の支援を行った。（総額 1,010 千円）

3 就職活動支援

(1) キャリア就職活動支援

就職活動をサポートするための「就職手帳」の作成費およびキャリア支援講座の開催費用の支援を行った。（総額 1,553 千円）

(2) その他

就職活動を補助するためにキャリア支援室に配置する就職関連図書の購入の支援を行った。（総額 229 千円）

4 表彰事業支援

(1) 学修奨励賞・学業成績優秀賞・白鷺賞

学修奨励賞（40名）として、大学選考の成績優秀者2回生に副賞（図書カード）を授与（11/3 学生表彰式典実施）、学業成績優秀賞・白鷺賞（37名）として、大学選考の最優秀成績者の4回生（医学科・獣医学部は6回生）に副賞（懐中時計）の授与を行った。（3/21 学生・教員表彰式典実施）（総額 1,056 千円）

(2) 課外活動賞

最優秀課外活動賞1団体・1個人、優秀課外活動賞2団体・1ペア、資格試験等優秀成績表彰9個人（公認会計士1名、TOEIC900点以上4名、英検1級1名、司法試験1名、国家公務員1名、応用情報技術1名）、SDGs表彰1団体の表彰及び副賞の授与を行った。（3/21 学生・教員表彰式典実施）（総額 325 千円）

(3) 優秀教育賞

本学において優れた教育を行う教員を顕彰し、副賞の授与を行った。受賞者2名：作田敦氏（工学研究科・准教授）、佐金武氏（文学研究科・准教授）（3/21 学生・教員表彰式典実施）（総額 200 千円）

(4) 優秀テキスト賞

優れた教科書を出版した教員を顕彰し、副賞の授与を行った。申請8件、表彰6件（3/21 学生・教員表彰式典実施）（総額 300 千円）

(5) 女性研究者顕彰

女性研究者支援室が実施した創造的かつ意欲的に研究教育を行っている女性研究者・学生を顕彰した。「奨励賞」「特別賞」（以上、岡村賞）の副賞の支援を行った。受賞者：大学院生奨励賞

三枝まり氏（人社システム研究科）大村美香氏（理学研究科）金野文香（理学研究科）松本朋子（農学研究科）（総額 202 千円）

5 教育環境支援

(1) OMUラーニング支援

在学中の学生の自主的・能動的な学修とそれを促す教育をサポートするための「OMU ラーニングセンター」の活動の支援を行った。（総額 1,000 千円）

(2) 教育環境整備支援

学内施設の整備・改修や設備・備品類の設置など、教育環境の整備、充実を進めるための事業を支援した。

整備助成内容	配置キャンパス等	金額（千円）
無線機設備	附属植物園	309
プロジェクター等設置費	りんくう	429
学生更衣室防カビ対策費	羽曳野	1,188
体育部室一部改修	中百舌鳥	2,869
第一合同部室前照明設置・田中記念館 2 階会議室・机椅子設置等	杉本	4,043
合 計		8,838

(3) 学部・大学院学生旅費（国内・国外）等補助事業

学部・大学院学生が国内・国外で開催される学会・シンポジウム・研究会・研究者交流・フィールドワーク等へ参加費用等の補助を行った。学部学生は国内を 3 万円、海外を 6 万円を上限とし、大学院学生は国内を 5 万円、海外を 10 万円を上限として支援。申請者 102 件（総額 4,874 千円）

(4) 学生選書支援

学術情報課が実施する学生選書の図書購入費（各キャンパス図書館）への支援を行った。（総額 1,528 千円）

(5) キャンパス間交通費助成

りんくうキャンパスに拠点を持つ獣医学部を対象に、授業受講などに必要なキャンパス間移動のための交通費の一部の支援を行った。（総額 552 千円）

(6) グローバルリーダー育成奨学金制度

学部・学域 2 年次のうち、将来グローバルな視点と深い専門性を兼ね備えた国際性豊かなリーダーとして世界に貢献する人材育成のため本学独自の奨学金制度を支援した。採択奨学生 9 名（総額 1,500 千円）

(7) 教育研究活動支援

学部・学域、研究科の教育研究活動で生じる諸経費の一部の支援を行った。申請 9 件、採択 6 件（総額 3,010 千円）

(8) その他

博物館キャンパスメンバーズ制度および新入生歓迎セミナーへの支援を行った。

(総額 248 千円)

6 語学・国際交流支援

(1) 海外留学保険料支援事業

国際的視野を有し世界で活躍できる人材育成のため外国への留学する学生を支援するため、留学期間の海外留学保険料の補助を行った。申請 42 件 (総額 744 千円)

(2) 語学試験受験費用支援

外部外国語検定試験：公開 TOEIC, TOEFL, IELTS などの語学試験受験料の一部の支援を行った。

(総額 3,547 千円)

内 容	補助額 (1 回あたり)	利用者数
公開 TOEIC	3,000 円	1,150 名
TOEFL	5,000 円	12 名
IELTS	5,000 円	6 名
合 計		1,168 名

(3) 留学生支援事業

留学生支援のため、日本語弁論大会などの企画・事業へ支援を行った。(総額 167 千円)

7 保護者交流支援

(1) 新入生保護者懇談会の開催

- ・5月27日(土) 杉本キャンパス 参加者 229名
 - ・6月3日(土) 中百舌鳥キャンパス 参加者 179名
- 第1部 全学懇談会 第2部 学部・学域別懇談会

(2) 保護者就職説明会の開催

- ・7月29日(土) 参加者 468名
- 第1部 「市大・府大の就職状況」
第2部 現役学生さんが語る就活秘話
第3部 保護者のための就活応援講座

(3) 保護者交流企画事業の開催

- ・「わがセンセの学(楽)問のススメ」
- 第1回 8月26日(土) 参加者 180名
- 第1部 「ブラックホール、あるんだってね！」 石原 秀樹先生
第2部 「大阪の乳業の変化」 中村 治功先生
- 学生パフォーマンス(アイドルコピーダンスサークルにゃん恋、マジック部
HAT、JAZZ研究会)

第2回 12月16日(土) 参加者127名

第1部 「食の安全安心について改めて考えてみよう」 三宅 眞実先生

第2部 「勇気をもって詩集を開いてみませんか？」 村田 正博先生

学生パフォーマンス (アイドルコピーダンスサークルにゃん恋、テコンド一部、
交響楽団、JAZZ 研究会)

- ・「水内俊雄先生と巡る杉本キャンパスツアー」 9月30日(土) 参加者42名
- ・「海へ!空へ!中百舌鳥キャンパスツアー」 10月14日(土) 参加者46名
- ・ 附属植物園散策ツアー 11月23日(木祝) 参加者46名

- ・第2回ホームカミングデー 11月4日(土)

午前:杉本キャンパス 参加交流委員24名

午後:中百舌鳥キャンパス 参加交流委員22名

8 機関会議の開催

①定例評議員会

開催日 2023年6月24日(土)

場 所 杉本キャンパス 学術情報総合センター1階文化交流室

出席者 32名(委任状出席含む)

議 案 1号議案「役員選出の件」 2号議案「評議員選出の件」
3号議案「2022年度事業報告の件」 4号議案「2022年度決算報告の件」
5号議案「2023年度事業計画案の件」 6号議案「2023年度収支予算案の件」

②役員会

開催日 2023年6月24日(土)

場 所 杉本キャンパス 学術情報総合センター1階文化交流室

出席者 26名(委任状出席含む)

議 案 1号議案「役員選出の件」 2号議案「評議員選出の件」
3号議案「2022年度事業報告の件」 4号議案「2022年度決算報告の件」
5号議案「2023年度事業計画案の件」 6号議案「2023年度収支予算案の件」

③運営理事会

開催日 2023年6月14日(水)

場 所 杉本キャンパス 田中記念館2階「会議室」

出席者 11名

報告事項 (1)2023年度入会者数・率について

審議事項 (1)2023年度役員会・定例評議員会への提出案件について

開催日 2024年1月25日(木)

場 所 杉本キャンパス 田中記念館2階「会議室」

出席者 11名

- 議 案 (1)2023年度保護者交流事業の実施状況
(2)2023年度学生支援事業の実施状況
(3)各学生支援事業実施要領の改訂
(4)その他

④学生支援委員会

各種学生支援事業の実施にあたり、事業内容等の具体的な検討、評価、選定作業等について本委員会において審議、意見聴取した。

第1回 2023年7月24日(月)

第2回 2023年11月29日(木)

第3回 2024年5月1日(水)

委員会の構成(敬称略) 12名、保護者・大学関係者により構成

- ・委員長 高林 秀信(保護者・教育後援会理事)
- ・副委員長 松本 淳(学長補佐・教育後援会理事)
- ・委員 大塚 耕司(副学長・教育後援会副会長)
- ・ " 池山 尚高(学生課長・教育後援会理事)
- ・ " 上須加寿子(学生担当課長・教育後援会理事)
- ・ " 今入 隆子(保護者・教育後援会理事)
- ・ " 北西 敬子(保護者・教育後援会理事)
- ・ " 妹尾 日登美(保護者)
- ・ " 辻井 亮(保護者・教育後援会理事)
- ・ " 滝本 裕次(保護者)
- ・ " 福嶋 幸太郎(保護者)
- ・ " 唐沢 力(常務理事)

⑤保護者交流委員会

保護者交流企画事業に関する企画および運営を行うため、保護者会員より構成された本委員会において検討、実施した。

第1回 2023年5月12日(金)

第2回 2023年7月10日(金)

第3回 2023年10月26日(木)

第4回 2024年2月7日(木)

第5回 2024年3月28日(木)

委員総数 47名(委員長 今入 隆子 副委員長 岩井 直美、堂元 朋子)

委員構成(氏名省略)

現シス3、文学3、法学3、経済2、商学8、理学5、工学11、
農学4、獣医3、医学医学1、医学リハ1、看護1、生科2

9 加入促進・広報活動

(1) 加入促進

- ・入学のしおり（大学入試課発行）への入会案内等の掲載
- ・入学手続き会場での入会受付、事業案内
- ・入会案内、事業紹介パンフレットの発行、内容改定
- ・大学事務局各学部、学科担当への入会申込書の取りまとめ依頼
- ・入会申込書へのQR掲載による手続きの簡素・迅速化
- ・オンライン手続システムの開発準備、大学事務局との連絡調整

(2) 広報活動（各種事業など教育後援会の活動案内・募集、事業報告）

- ・教育後援会ホームページ、SNS（X、Instagram）への掲載
- ・大学ホームページ、UNI PA（学生向けポータル）への掲載
- ・保護者交流会だより2号の発行（1万2千部）
- ・事業開催案内のEメール送付（会員）及びダイレクトメール（一部）
- ・事業案内はがきの郵送（一部）
- ・各キャンパス学生向け掲示板へのポスター掲出、事業チラシの備置・配付
- ・各学園祭パンフレット、就職手帳への事業案内掲載
- ・三者協議会事務局会議（大学渉外企画課、校友会、当会で構成）における事業説明、協力要請
- ・大学から提供された情報の広報協力
（OMU基金募集、大学主催の就職説明会案内、NHK受信料減免など）

監査報告書

2023年度大阪公立大学教育後援会監査報告書

監査実施日 2024年5月22日

監査実施者 会務監事 尾崎敬則



同 浦西秀司



1. 監査対象

(1) 名称 大阪公立大学教育後援会

(2) 代表者 会長 金児暁嗣

(3) 所在地

(杉本キャンパス)

大阪市住吉区杉本3-3-138 田中記念館2階 電話06-6605-3420

(中百舌島キャンパス)

堺市中区学園町1-1 A11棟325号室 電話072-254-9205

(4) 設立年月日 2022年4月1日

(5) 立会役員 大阪公立大学教育後援会常務理事 唐沢 力

大阪公立大学教育後援会事務局次長 藪中 昭二

大阪公立大学教育後援会事務局次長 箱 幸一

2. 監査結果

私たちは、大阪公立大学教育後援会の2023年4月1日から2024年3月31日までの2023年度の会務の執行について監査を行った。

監査の結果、会務の執行は、概ね法令及び会則に従い評議員会及び役員会の決議に基づき誠実に執行されているものと認める。ただし、以下の所見を付する。

- (1) 全体として入会率の向上が図られている。しかし、なお、入会率の低いところもあり、教育後援会による更なる加入促進の取り組みはもちろんのこと、大学に対して、この取り組みに対する援助が求められる。そのためにも、加入率が低い理由について検討し、教育後援会による支援事業の内容や、その成果などを、学生や保護者に対して、強くアピールするよう、パンフレット等のさらなる様々な工夫が必要ではないか。
- (2) 教育後援会の広報活動について、学生の参加やWEB・SNSの活用、動画配信といった学生や保護者に届きやすいPR手法の導入の検討が急務ではないか。
- (3) 教育後援会の入会手続きについては、大学の入学手続のオンライン化に合わせ、入会促進を図る見地から見直し、かつ、学生や保護者の権利を最大限尊重した内容での大学と連携した取り組みが必要ではないか。